

一般社団法人未来に輝く企業づくり研究会 MiraQ LETTER | VOL. 08

2025.11

Introduction

定例研究会第8回が開催！

2025年11月13日(木) MiraQ定例研究会の第8回が開催されました。今回は、現地121名、オンライン3名と合計24名の方にご参加いただきました。11月のテーマは「組織風土と企業文化」。前回に引き続き、組織のテーマです。組織で働く以上、悩みも尽きないテーマですね…。いつも以上に学びの多い会になりました。



Discussion①

4つのタイプを参考にした場合**あなたの会社の企业文化は、現在どこに位置しますか？**

最初のディスカッションでは、“理念の共有 × 仕事の自由度”を4つのタイプに分類し、自社がどの位置にあるのかを考えていきました。

今回は私自身もグループディスカッションに加わりましたが、その中で改めて感じたのは、「理念の共有」は言うほど簡単ではないということでした。

【参加者の意見】

「意外とライスワークな働き方をしてる人多いと感じた。でもそれでいいと思っている人も少ないのかなと感じた」Tさん
 「社員は自社の経営理念は知っているが必ずしも共感している訳ではないと実感した。」Sさん
 「良い組織風土・企业文化作りには会社としての理念も大切だが、同じくらい個人が明確な行動基準を持って行動すること重要であると気づいた。」Yさん
 「管理職クラスであっても、まだまだ、理念やビジョンへの理解が浸透していない可能性もあるということに気づけた。」Kさん

弊社ではおそらく理念そのものは全員が復唱できます。ただじゃあなんでその言葉を使っているのか、なぜその順番なのか、といった背景の理解となると、恐らく全員が違う答えを言うのではないかなと思いました。腹落ちして共有できるまでに到達したいですね。

Discussion②

好ましい組織風土・企业文化をつくるために、**経営者・幹部として****明日からできることは具体的に何ですか？**

ここでも私自身、ひとつ考え込む場面がありました。多くの企業が「話しやすい雰囲気づくり」や「認め合う文化」を目指す中、弊社は「相談しやすすぎる」という課題があります。

気軽に声を掛けやすいというのは一見良いことなのですが、まだ自分で考える前にすぐ誰かに聞いてしまうクセがあるため、依存的な状態が生まれやすいのです。

改めてモヤモヤを整理する良いきっかけになりました。

【参加者の意見】

「自社にとって「好ましい」風土や文化を考えてみたい」Hさん
 「改めて挨拶や、普段の声かけを大事にしたい。また話を聞いて、感謝しあえる組織に向かいたい。」Tさん
 「相手が理解してくれるという考え方をやめ、相手を理解する行動をする。」Yさん
 「エバンジェリストである彼らともっとここに対してコミュニケーションをしたいし、会議や面談でも盛り込みながら話をしたい」Tさん
 「部下が「わかりました。」と言った時に、そのまま任せないで、復唱させる取組みを実践している」Yさん

“明日から確実に取り組める行動”が多く挙げられました。企业文化は一朝一夕で変わるものではありませんが、こうした小さな積み重ねこそが未来の風土づくりにつながるのだと感じます。今回のディスカッションを通して、「依存ではなく、自立できる組織をつくる」という共通の目標が、参加者の中で自然と共有されていたことが印象的でした。

次回案内**【テーマ】「財務管理と利益計画」****【日時】2025年12月11日 (木) 16:00～18:00****【会場】エル・おおさか 南72 もしくは オンライン**

今月の定例研究会のテーマは、「組織づくり」でした。企業の持続的な成長や発展には、設備投資による供給力の向上と時代に則した商品開発が欠かせないわけですが、それらを実行するのはやはり人（社員）です。一人ひとりの力は小さくても、みんなが協力すれば大きな仕事ができる。そう信じて普段から組織づくりに携わっています。

